



# Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和3年7月号



## ドラマがいっぱい 大会が戻ってきました!



4月末、県内のコロナ感染症拡大を受けて、春季大会が中止となり練習試合もできなくなって1ヶ月あまり。6月からようやく大会も練習試合も解禁となりました。12日には和歌山県中学校バスケットボール選手権大会海草大会が野上中学校で、海南市民スポーツ大会軟式野球の部が紀美野町農村センターグラウンドで開催されました。バスケット部も野球部も春までは合同チームでしたが、1年生が多数加わり単独チームでの出場となりました。

私(岩崎)はバスケットの大会の応援に野上中へ。(野球部には13日の決勝の応援に行くと言われていました)まず、男子が下津二中と対戦していました。3年生はキャプテンの溝端君(左写真)一人で、

他は全員1年生です。実戦は初めてで3年生主体の相手にどうなるかと心配していましたが、試合が始まるや、全員でボールに食らいついていき大接戦となりました。しかも、後半も運動量は衰えず、井邊先生の「ボールに触れ!」の指示を守って最後まで必死にボールを追いました。第4クォーター途中2点差まで詰め寄る場面もありましたが、最後は6点差で惜しくも敗れました。女子は3年生2人が故障で出場を見合わせたため、3年生2人と他は1年生が出場し下津一中に挑みました。初め

ての大会に1年生は緊張している様子でしたが2人の3年生が懸命にリードしました。残念ながら試合が進むにつれ点差は開きましたが、1年生も最後まで必死にボールを追いました。そして、最後に感動的な場面がありました。昨年の夏に膝の大怪我を負い、手術をし、長い間リハビリ生活を送ってきた3年生の馬田さん。接触プレーはできないのですが、ラスト1分だけ出場することになり約1年ぶりの大会のコートに立ちました。そして、その瞬間がやってきます。パスを受け左サイドから放ったロングシュートは放物線を描き見事ゴール!(写真左)1分、一度だけのチャンスを生かしました。すごい!



優勝を目指していた野球部は下津二中・海南中合同チームに2-3でさよなら負けを喫しました。自分らの課題を身にしみて感じたようで、これからの練習でより大きく成長するチャンスをもたらしたと考えましょう。夏の総体は県大会の応援に行けるように信じています。

大会にはいろいろなドラマがあります。勝っても負けても必ず得るものはあり、これからの成長が楽しみでなりません。皆さんのアクティブステージを見られたことが何よりも嬉しかったです。

# 果てしない雑草との戦い

梅雨の季節、夏が近づくにつれ、東海南のグラウンドには青々と雑草が生い茂ってきます。その雑草と日々戦っているのが1・3年生の掃除担当と校務員さんと私。



掃除の15分間でどれだけ草を掻くかが毎日の勝負です。校舎の2・3階から見れば、昨日の掃除の成果がはっきりときれいに見えます。これから、夏にかけて雑草はより勢力を増すとともに、我々人間は暑さとも戦わなければなりません。少し手を抜くと瞬く間に雑草が幅をきかせます。そのせめぎ合いに勝てるかどうかは根性しかないのです。15分でも草を掻き続けると腕や腹筋がパンパンになるほど。私はよく「ボランティア型筋トレ」と

称して「筋トレが誰かの役に立つのは嬉しいことやなあ」と言うのですが……。範囲は無限、きりがありません。それでも「東海南のグラウンドを守っているのは自分たち」というプライドを胸に毎日続けるしかないでしょう。1年生から生徒総会に向けて「時々、グラウンドの草抜きを全校生徒でやろう」という提案がありました。生徒からそういう提案が出るのは素晴らしいことです。

## 命を守ることが最優先 避難訓練・交通安全

10日、地震と火事を想定した避難訓練を実施しました。生徒は全員机の下に身をかがめ、ヘルメットをかぶって避難経路を通りグラウンドへ整列しました。避難所用時間は2分25秒。予告ありの訓練とはいえ、皆真剣にルールを守って取り組みました。次回は予告なしでの訓練です。「本当に地震が起こったらどうすべきか」を常に意識してほしいと思います。

学校生活で私たち職員が何よりも最優先すべきことは皆さんの命を守ることです。今、一番気になるのが自転車通学。先日、下校中の本校生徒の自転車と自動車との接触事故がありました。原因は前かごに重いカバンを入れていたためハンドルをとられたこと。

「もし、自転車からとっさに飛び降りていなかったら」と思うと今でも背筋が寒くなります。

また、18日には海南警察署による交通安全教室を実施しました。「たった一つの命を守るために」と交通ルールと事故がおこりやすいケースを確認した後、事故で人が飛ばされる映像を何度も何度も見ました。交通安全教室は毎年実施していますが、今回は身につまされる思いでした。



本校ではこれまで「重い荷物は前かごに入れず、後ろの荷台に固定する」ということを徹底していませんでした。すぐに職員会議で話し合い、啓発しています。荷台に固定するためのゴム網(左写真)も学校で購入できるように準備します。また、あまりに重い荷物についても、「置き勉」(教科書やノートを学校に置いておくこと)の是非を生徒総会でしっかりと話し合いたいと思っています。「生徒の命を守ることが最優先」そのことを今一度心に刻み、気になることがあればすぐに対応していきます。